

## 京都創造者大賞

# 琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会

## 琵琶湖疏水沿線の魅力創造事業



- 2017年 協議会設立。通船を含む琵琶湖疏水沿線の観光開発を担う事業主体として、民間企業、京都市と滋賀県大津市の観光協会、商工会議所、地元行政の連携により設立。

### 【事業内容】

明治維新の後、衰退する京都に水をひき、街を活性化するため、1890年に建設された琵琶湖疏水。舟運や水力発電の活用などにより、日本初の路面電車の実現など京都に活力をもたらした。同協議会は琵琶湖疏水で運航されていた通船を、観光船として復活させ、琵琶湖疏水沿線の魅力創造・発信を担い、岡崎・山科・大津の広域的な活性化に寄与している。琵琶湖疏水は国の史跡に指定されており、2020年6月、日本遺産認定(文化庁)。



### 審査講評

琵琶湖疏水は近代京都の礎である。明治維新により活気を失った京都が復興し、水力発電や電気鉄道などの日本初の事業を成し遂げたのは、琵琶湖疏水の建設が端緒となっている。当時、琵琶湖から京都へ人や貨物を運んだ通船を、観光船としてよみがえらせ、新しい持続可能な観光モデルが誕生した。国内外の観光客や子どもたちが、疏水沿線に存する数多の産業遺産と豊かな自然を堪能し、船上という目新しい視点から、都市創造の歴史に触れる機会を今後も提供されることを期待したい。